JJ Campus Voice!!

Annual Report 2019

Komaya Seminar 4th Members

Jissen Women's University

Contents

1. はじめに
2. 駒ゼミ“よんきーず” メンバー紹介
3. *JJ Campus Voice!!* 誕生前
   2019年度前半（4～9月）
4. *JJ Campus Voice!!* 始動！
   番組コーナー紹介
   活動の流れ（企画・放送・報告）
   2019年度後半（10～3月）
   October 2019-10-3
   November 2019-11-7
   December 2019-12-5
   January 2020-1-9
   February 2020-2-6
   March 2020-3-5
5. おわりに
6. 謝辞

はじめに

実践女子大学人間社会学部人間社会学科の駒谷ゼミ（駒ゼミ）は、メディア情報リテラシーを理論的背景とし、その育成を目的としています。ゼミ生は、個人の活動として、己の興味関心に基づき、メディアに関わる卒業論文研究を進めています。また、ゼミ全体の活動として「メディアの受け手・使い手・作り手・送り手」のメディア体験を蓄積しています。

その一環として、2019年度前期は、「渋谷のラジオ」で毎月第1木曜日（15:00～15:55）に、3年ゼミ生“よんきーず”（駒谷ゼミ4期生）12名が順に生放送に参加し、卒論テーマの検討段階をリアルタイムで伝えました。

後期は、「渋谷のラジオ」渋谷区商店部中央エリアのご厚意で、30分枠（55分の場合もあり）を頂けました。そこで、本学企画広報部と相談し、“よんきーず”が企画・取材・発信まで行う大学公認のラジオ番組「JJ Campus Voice!!」を立ち上げました。

実践女子大学（JJ）を起点とし、従来の卒論研究のプロセスをオタク目線で語るだけでなく、渋谷区中央エリアを実際に取材したり、大学の最新ニュースを伝えたり、ツイッターを発信したりして、多彩な情報活動を展開しています。

“よんきーず”が試行錯誤しながらも自由闊達に活動した1年をこのブックレットにまとめました。「JJ Campus Voice!!」活動を通して、本学科のディプロマ・ポリシーである「問題解決に向け、自らアクションプランを策定し、主体的な実践」を結実できたと感じています。

駒ゼミ生たちが名付けた「JJ Campus Voice!!」は、実践女子大学全体の活動として、さらに拡大していくことを期待しています。

実践女子大学　教授　駒谷真美

Koma Semi 2019
4th members

小島理香子（りか）

【卒論テーマ】eスポーツ

【profile】RPG・FPSなどゲームが大好きです！eスポーツがもっと広まったら嬉しいです！

篠田萌（もえ）

【卒論テーマ】魅せるジャニーズ舞台ー『滝沢歌舞伎』を中心にー

【profile】舞台を観るのが大好きです！月4~5本観てます！

嶋村深雪（みゆき）

【卒論テーマ】女子学生のスキンケア

【profile】流行のスキンケアやコスメ情報を収集するのが好きです！

竹澤百香（ももか）

【卒論テーマ】2.5次元ミュージカル

【profile】イケメンと可愛い女の子が好きです！

中家遥菜（はるな）

【卒論テーマ】メンズメイク

【profile】目覚まし時計なしで起きられます！

贄田真佑菜（まゆな）

【卒論テーマ】女子大生の貯蓄事情

【profile】バイトが好きで、バイト代を貯金するのが楽しみの1つです！

西浦未雪（みゆき）

【卒論テーマ】女性アイドルの握手会における直接コミュニケーション

【profile】坂道グループのアイドルが大好きです！

原田真夏（まなつ）

【卒論テーマ】なぜモーニング娘。は20年以上続いているのか？

【profile】ハロプロ・ジャニーズなど色々なアイドルが好きです！

町田理恵子（まっちー）

【卒論テーマ】ジャニーズのデビュー組とJr.におけるヲタク心理

【profile】カフェ巡りが好きです！

山本和泉（いずみ）

【卒論テーマ】日本のテレビドラマから視るLGBTの変遷

【profile】テレビが好きです！放送研究部でラジオやドラマを作っていました！

渡井絢子（あや）

【卒論テーマ】オタク女子の実態ー特撮ヒーロー出身の若手俳優を中心にー

【profile】サンリオと子どもたちが大好きです！

滝萌佳（もか）

【卒論テーマ】ICT教育におけるデジタル教科書

【profile】

メディア操作が得意で、講義ではiPadを駆使しています！

JJ Campus Voice!! 誕生前
2019年度前期（4～9月）

2018年度からの継続で以下の2コーナー構成で展開

①駒ゼミ生のトーク ゼミの選択理由や卒論研究の進捗状況報告

②こまさんに聞いてみよう！ ゼミ指導教官の駒谷が専門領域のメディア情報リテラシーの観点から時事を解説

April 2019-4-4

① 駒ゼミ生 まっちー・はるな・あやのトーク

② こまさん「エイプリルフールとフェイクニースの今昔」

May 2019-5-2

① 駒ゼミ生 ももか・モカのトーク

② こまさん「平成から令和へ、変わるもの変わらないもの」

June 2019-6-6

① 駒ゼミ生 みゆき（嶋村）・まっちー・まゆなのトーク

② こまさん「集英社＋実践女子学園の実践りんごプロジェクトを紹介」

July 2019-7-4 (August summer vacation)

① 駒ゼミ生 みゆき（西浦）・りか・もえのトーク

② こまさん「令和の子どもたちへ！楽しい夏休み前、メディアの落とし穴に注意です!!」

September 2019-9-5

① 駒ゼミ生 いずみ・もえ・モカのトーク

② こまさん「10月開始のJJ Campus Voice!!の3コーナーについて紹介」

JJ Campus Voice!!　始動！

番組コーナー紹介

- JJ Campus Voice!!は、実践女子大生（JJ）の「声」を聴く・伝える・共有するがモットー
- 番組構成は下記の3コーナーで展開

「渋谷区中央エリア探検!」コーナー

渋谷中央エリアで話題のファッション・カフェ・スイーツのお店や地域ビル、最新メディアの会社を取材し、いち早く「渋谷の今」を紹介する

「オタクは語る!」コーナー

駒ゼミ生の卒論テーマに関わる趣味や研究の取り組みなどを思い思いに熱く語る

「JJに聞いてみよう！」コーナー

①Twitterやアンケート等を通して、実践女子大生が今考えていることや感じていることを伝える

②実践女子大学の年中行事・ゼミやサークルの最新ニュースを伝える

JJ Campus Voice!!　始動！

活動の流れ

企画

- グループで担当する月の企画案をコーナーごとに考える
- 取材先に企画書を提出し、綿密に打ち合わせをする
- 見学やインタビューなどの取材を実施する

取材企画書

JJ Campus Voice!!　Feb.2020「渋谷区中央エリア探検！」コーナー　企画書

[取材目的]　実践女子大生によるラジオ番組「JJ Campus Voice!!」の「渋谷区中央エリア探検！」コーナーで、最新情報を発信する。今回は、渋谷の街が舞台の AR 謎解きゲーム「サラと謎のハッカークラブ」の実体験を紹介する。

[取材担当]　小島・西浦・山本（実践女子大学人間社会学部駒谷ゼミ３年生）

[取材内容紹介]　渋谷のラジオ「JJ Campus Voice!!」2/6（木）15:00～16:00 生放送
＋「JJ Campus Voice!!」Twitter＋実践女子大学 HP＋ゼミ活動 Photobook

[取材希望先]
プレティア・テクノロジーズ株式会社（東京都渋谷区[redacted]）

29 日（水）15:30 決定

[取材希望日]
以下の候補日から１日をお選び頂き、ご都合のよろしいお時間をご指定くださいますと幸いです。
取材では、指導教官の駒谷も同行します。
27 日（月）18:00 以降　or　28 日（火）17:30 以降　or　29 日（水）終日 OK

[紹介対象]　AR 謎解きゲーム『サラと謎のハッカークラブ』　（吉田様の取材後にゼミ生が別日に体験する）
プレティア株式会社が提供する AR 謎解きゲームの第一弾である。参加者が「プレイヤー」となり、ストーリーに沿って実際に渋谷の街を歩き回る体験型ゲームである。謎解きは、専用のスマートフォンアプリを使う。プレイヤーたちは、渋谷駅前のスタート地点で注意事項などの説明を受けた後、街へと繰り出し、90 分間の制限時間内に、数々の謎解きを攻略しクリアを目指す。
実際に自分たちで商店街を含めた渋谷を歩くことで、自分たちの通う街をより知ることができる。加えて、スマホと連動する AR という最新技術に触れた実体験をラジオで伝えたい。

出典：https://pretiaar.com/games/2　https://jp.techcrunch.com/2019/07/25/pretia-fund-raising-2/

[留意点]
- 取材先のご要望（ネタバレ注意）を厳守する
- 取材先の希望する場所を撮影する
- 一般のお客様を写らないように撮影する

[連絡先]
駒谷 真美（実践女子大学　人間社会学部　人間社会学科　教授）
e-mail: komaya-mami@jissen.ac.jp　homepage: http://www.komayalab.com/

JJ Campus Voice!!　始動！

活動の流れ

放送

- 生放送に向けて進行表を作成
- 大学企画広報部と「渋谷のラジオ」パーソナリティのカツ氏に提出
- Twitterで番組告知　→　生放送本番！

進行表

JJ Campus Voice!!　「渋谷のラジオ」 Timetable　2020年 2月

放送年日時	2019年　2月　6日　(木)　15：00～15：55	
駒谷ゼミ担当者（ラジオネーム）	[前半30分] よんきーず（3年生）山本和泉(いずみ)　/　駒谷 ごきーず（2年生） パート1：澤田陽日希（ぴぴ）/森田美沙貴（みさ）/鈴木有沙（ありさ） パート2：高田望（のんちゃん）/君島ほのか（ほのか）/東井優希（ゆき）/塩入恵（しおちゃん） パート3：井上佳映（かえちゃ）/藤井ちひろ（ちーさん）/小島優奈（ゆうな）	
	[後半25分] よんきーず（3年生）小島理香子(りか)　・　西浦未雪(みゆき)	
時間配分	コーナー	内容
15：00～15：02	オープニング	ジングル・番組タイトルコール(DJ勝さん) 挨拶 → 時事ネタ and/or 季節ネタ
15：02～15：10 パート1（8分） 15：10～15：18 パート2（8分） 15：18～15：25 パート3（7分）	コーナー① 「JJに聞いてみよう！」 特別企画 「先輩に聞いてみよう！」	来年度から同じ駒谷ゼミになる後輩の2年生たち（ごきーず）が抱える疑問・質問に、先輩の3年生いずみ（よんきーず）が楽しく答えます。10人のごきーずが初登場します。 コーナー最後に「この後、私たちはテレ朝に移動します。テレビ塾に行きます。後半はりかちゃんとみゆきちゃんです！」
15：25～15：30	ミュージック①紹介	選曲理由：最近デビューし、YOSHIKI作曲で話題だから
	ミュージック①	アーティスト名：SixTONES　曲名：Imitation Rain
15：30～15：35	コーナー② 「オタクは語る！」	りか　→　eスポーツ(2.5分) みゆき　→　坂道アイドル(2.5分)
15：35～15：50	コーナー③ 「渋谷区中央エリア探検！」	ARゲーム「サラと謎のハッカークラブ第1弾」 ①ARゲームの簡単な説明 ②今回参加したゲームの概要 ミッション：制限時間は90分―渋谷中にしかけられた謎を解き人々を救え！ ③制作元「プレティア・テクノロジーズ株式会社」にインタビュー ・どんな意図で制作をしたのか・制作の苦労・サイコパスコラボ(1月～)も面白い ④実際に体験した感想・魅力 ・インスタ映えのフォトスポット・最初の部屋の世界観が良い・ストーリーの面白さ・ヒントがもらえるので初心者でも大丈夫・目的アリでの街歩きの楽しさ・友達などグループで参加したらなお楽しい・いつもの見慣れた渋谷が知らない渋谷に見えてくる
15：50～15：53	ミュージック②紹介	選曲理由：大好きなアーティストの曲だから
	ミュージック②	アーティスト名：日向坂46　曲名：こんなに好きになっちゃっていいの？
15：53～15：55	エンディングトーク	次回予告　「次回は私たちよんきーずの最終回です！お洒落な渋谷探検を企画しています！先輩に聞いてみようコーナーは、ごきーず3人が初登場します！お楽しみに！」

JJ Campus Voice!!　始動！

活動の流れ

報告

- 放送記録と担当メンバーのコメントを入れた報告書を作成
- 大学企画広報部とパーソナリティのカツ氏と取材先に提出
- 企画広報部が大学のHPにアップ

月間報告書

「JJ Campus Voice!!」 Monthly Report Feb. 2020

1. 放送日時　2020 年 2 月 6 日(木) 15 時～15 時 55 分

2. 担当メンバー

駒谷ゼミ 3 年生（ラジオネーム）
小島理香子(りか)・西浦未雪(みゆき)・山本和泉(いずみ)
駒谷ゼミ 2 年（ラジオネーム）
パート 1：澤田陽日希（ぴぴ）/森田美沙貴（みさ）/鈴木有沙（ありさ）
パート 2：高田望（のんちゃん）/君島ほのか（ほのか）/東井優希（ゆき）/塩入恵（しおちゃん）
パート 3：井上佳映（かえちゃ）/藤井ちひろ（ちーさん）/小島優奈（ゆうな）

3. コーナー概要

「JJ に聞いみた」：テーマ 特別企画「先輩に聞いてみよう！」
来年度から駒谷ゼミになる後輩の 2 年生(ごきーず)の抱える質問に先輩のいずみ(よんきーず)が答えた
「オタクは語る」：テーマ 卒論のテーマについて
(1) りかーゼスポーツについて
(2) みゆきー坂道グループについて
「渋谷中央エリア探検」：テーマ AR ゲーム「サラと謎のハッカークラブ第一弾」
(1) AR ゲームの簡単な説明
(2) 今回参加したゲームの概要
(3) 制作元「プレティア・テクノロジー株式会社」にインタビュー
(4) 実際に体験した感想・魅力
使用楽曲：SixTONES「Imitation Rain」　日向坂 46「こんなに好きになっちゃっていいの？」

4. 感想

・前半は、3 年生は私一人で不安でしたが、どうにかその場を回せられて良かったです。勝さんとも楽しく軽快に話せてホッとしました。2 年生たちはみんな緊張してはいたようですが、笑顔で楽しくお話できました。私が聞いた質問にもきちんと受け答えできていて、頼もしかったです。AR 謎解きは体験してみてとても楽しく、このゲームをもっと世の中に広めたいと思ったので、ラジオで沢山お話しできて良かったです。（山本）
・後半 30 分の時間を異えたので、二人で今回体験した AR ゲームの話を沢山することができました。ラジオ出演は二回目ということもあり、前回よりリラックスして話すことができました。今回は特別に「プレティア・テクノロジー株式会社」にインタビュー取材させてもらい、制作のご苦労色々お聞きしました。体験したゲームは謎解きがとても楽しく、渋谷の知らなかった場所も知ることができ、わくわくときどきの経験になりました。（西浦）
・実際の渋谷で新しく楽しい AR ゲームを体験し、面白さを伝えることができて良かったです。DJ 勝さんも AR 謎解きに興味をもってくださり、「可能性を秘めてるな」と話が盛り上がりました。またこの 3 人で第二弾にも挑戦したいです。（小島）

5. 取材風景

「プレティア・テクノロジー株式会社」
原さん・吉田さんにインタビュー！

「サラと謎のハッカークラブ」体験！
渋谷の街を探検しました！インスタ映えフォトスポットも！

6. Twitter 展開(放送前に発信)

October 2019-10-3

「オタクは語る！」

【瀧萌佳（もか）】

「教育の情報化」の必須アイテムであるデジタル教科書について、ICT教育での成り立ちから教育現場での実践まで文献研究する！

卒論の中間発表（研究計画の抜粋）

【町田理恵子（まっちー）】

ジャニーズのデビュー組とJr.のジャニヲタを対象にファン心理尺度を取り入れたWEBアンケート調査を実施し、ヲタクの深層心理を探究する！

【嶋村深雪（みゆき）】

スキンケアの歴史を概観した上で、自己意識尺度とオリジナル質問のWEBアンケート調査を男女の大学生に実施し、女子大学生のスキンケア観を明らかにする！

October 2019-10-3

「渋谷区中央エリア探検！」

【取材先】 原宿の回転スイーツのお店「MASION ABLE Cafe Ron Ron」

【取材内容】 珍しい回転式スイーツ食べ放題カフェの食レポ
インスタ映えする可愛らしい店内では、色とりどりのスイーツを回転寿司スタイルで食べられます。スイーツが流れてくるのでチョイスしやすく（写真右）、食べ放題なので色々なスイーツにチャレンジできました。フードメニューも揃えてあり、スイーツと交互に食べることができました。取材当時は、ハロウィン期間の限定メニューもあり（写真左）、お得感に加えて特別感も味わえました。

「10月 振り返り」

- 前期のラジオでは決められたスケジュールで話す感じでしたが、今回は自分たちで企画から考え、実際に取材も行い、内容をまとめて放送しました。初めての挑戦で戸惑いもありましたが、その分達成感も得られました。（嶋村）
- 今流行っている話題のカフェについて、メンバーであれこれ話し合いながら取材方針を決めることができ、非常に楽しかったです。（町田）
- 自分の伝えたいことを言葉だけでリスナーの人たちに伝えるのは難しいと思いました。今回は今までとは違い、取材先や構成など全て一からメンバーで話し合って決めていきました。だからこそ「自分たちの番組なんだ」という思いも強く持つことができました。（瀧）

November 2019-11-7

「オタクは語る！」

【竹澤百香（ももか）】

2.5次元ミュージカルの作品分析と20代女性を対象にファン心理尺度とオリジナル質問によるWEBアンケートを実施し、その魅力を探る！

【中家遥菜（はるな）】

メンズメイクの歴史を振り返った上で、現代の男女の大学生を対象に化粧認知尺度と独自の質問によるWEBアンケート調査を行い、メンズメイクの許容範囲の境界線を見極める！

【贄田真佑菜（まゆな）】

令和の女子大学生の貯蓄事情について消費行動尺度を取り入れWEBアンケートを実施し、金銭感覚・貯蓄タイプなどを明確にする!

November 2019-11-7

「渋谷区中央エリア探検！」

【取材先】 11/1オープンの渋谷スクランブルスクエア

【取材内容】 メディアで取り上げられた話題のお店を食レポ

「つるとんたん」では、青を基調としたモダンなライティング中で和のテイストの「すき焼きうどん」などを堪能しました。

「PARIYA」のストロベリークラシックショートケーキは「王道！」の美味しさでした。

「ティラミススター」のティラミスはアルコールが入った大人の味でした。

「Atelier Anniversary」の濃厚プラリネショコラはタルト生地でボリューミーでした。

（写真左から）
Atelier Anniversary・PARIYA・ティラミススター

今回、スクランブルスクエア社に事前に取材について問い合わせをしたところ、「通常の客としても店内の撮影禁止。店内で購入した商品や食事の撮影も禁止。商品を買って帰ってからの撮影なら可」との指示が出たので、やむをえず商品を購入後、大学にて撮影した。

「11月 振り返り」

- 取材先や番組構成なども自分たちで考えたので、上手くいくか不安もありましたが、 3人で役割を分担し、楽しんで本番の生放送を終えることができました。（竹澤）
- 自分たちで企画したため、お店選びやコーナーの内容を決定するまで、紆余曲折ありましたが、その分実際の取材と生放送を楽しめました。本番は進行表通りには進まずヒヤッとしましたが、皆で上手く調整して話せました。（中家）
- 取材から得た情報を取捨選択し、限られた時間の生放送で分かりやすく伝える難しさを実感しました。また、自分たちで番組制作することで、取材や生放送のイメージも膨らみ、3人で楽しく取り組めました。（贄田）

December 2019-12-5

「オタクは語る！」

【原田真夏（まなつ）】

「なぜモーニング娘。は20年以上続いているのか？」について、ファン心理尺度とオリジナル質問を作成し、モー娘。ファンを対象にWEBアンケートを実施する。その結果とパフォーマンスによる時代区分を照合し、継続理由を探り出す！

【渡井絢子（あや）】

オタクの定義や歴史を俯瞰した後、若手男性俳優のオタク女子に対象を特化し、ファン心理尺度をアレンジしたWEBアンケート調査を実施し、オタク女性の生態を浮き彫りにする！

【嶋村深雪（みゆき）】

放送では卒論の進捗状況を報告
研究については10月に既出のため割愛

December 2019-12-5

「渋谷区中央エリア探検！」

【取材先】 11/22グランドオープンした渋谷PARCO

【取材内容】 ”新感覚”のお店を食レポ

「ティフォニウム・カフェ」では、「カシスとチョコレートのパフェ“コリドール”」などを注文しました。斉藤店長からAR（拡張現実）とパフェを融合した『魔法パフェ』についてご説明頂きました。パフェが届くまでタブレットでパフェにまつわるストーリーを楽しめ、届いたパフェにタブレットのカメラを向けると、リアルのパフェの周りにARの蝶々が飛んでいました！（写真左）
味覚も視覚も楽しめる、まさに新感覚のパフェを体験できました（写真右）。
「極味や」では、注文した「極味やハンバーグステーキ」などを、目の前の鉄板で自らハンバーグを焼くスタイルでした。こんがり焼けたハンバーグは自分で作った感も味わえてジューシーでした。

「12月 振り返り」

- 前期よりも緊張せずに周囲をみたり、時間配分を考えたり、自分らしく発言できました。「アナと雪の女王2」について話した時、映画をまだ見ていないリスナーの方に、ネタバレしないで「アナ雪」のよさを伝えるのは、大変難しいと感じました。ティフォニウム・カフェは、タブレットに登場するキャラクターを実際にタップ出来たり、タブレットの向きによって見え方が変わったりする点が新鮮で、カフェを超えた面白い体験でした。（嶋村）
- 放送では進行を務めましたが、30分という限られた時間で配分を考えながら話を進めるのが難しかったです。その分やりがいも感じ、最後まで楽しく取り組むことができました。ティフォニウム・カフェでは、パフェについてくる専用のコースターをタブレットで読み取ることで、画面上でキャラクターがパフェを作っている様子が見れたり、それを写真に撮ったりして楽しめました。現実にはないものが実際にあるかのような、不思議な感覚になりました。（原田）
- 今回は、自分たちでメディアに関わる最新情報を提供できて、とてもよい機会になりました。一方ラジオは音声なので、リスナーの方たちにAR体験や食事の雰囲気を伝えるのが難しかったです。ティフォニウム・カフェでは、ARの要素が加わったことで、注文したパフェが特別なものに感じられました。（渡井）

January 2020-1-9

「オタクは語る！」

【小島理香子（りか）】

「2022年 オリンピック種目化」されるeスポーツは、「全世界から誰でも参加可能」であり「世界プレイ人口 1億3,000万人」と言われる。「東京eスポーツフェスタ（2020年1月開催）」を見学し記録にまとめる。男女の大学生を対象にWEBアンケートを実施しeスポーツのコミュニティを深堀りする！

【渡井絢子（あや）】【町田理恵子（まっちー）】【瀧萌佳（もか）】

放送では、卒論の進捗状況を報告。研究については既出のため割愛

January 2020-1-9

「JJに聞いてみよう！」

【アンケート調査】 実践女子大生の令和初の大晦日とお正月の過ごし方

1/6に駒谷先生が担当する「メディア社会論」の開始前に、履修学生130人にお願いして、responアンケートを実施しました。

【結果】

大晦日の年越しは、「テレビを見ていた」「LIVEやフェスに行っていた」「ディズニーで年越していた」「大掃除をしていた」「アルバイトしていた」「お風呂に入っていた」と様々な回答が出ました。なかでも「テレビを見ていた」人は、「紅白歌合戦 58人」「ジャニーズカウントダウン 32人」などを見ていました。新年の挨拶は「LINE」が一番多く、年賀状は少数派でした。SNS世代の年越しと新年の姿が垣間見れました。

情報提供 駒谷

「1月 振り返り」

- 当初1月は例年通り番組がないと言われていたのですが、カツ様のご厚意で急遽番組を持たせて頂けることになりました。生放送まで準備期間が短く、しかも初の1時間番組で、不安が大きかったのですが、いつもよりも自由に明るく楽しくトークができ、あっという間でした。放送中今年の抱負を語ったので、達成できるようにこの1年を頑張りたいと思います！（小島）
- responアンケートの結果から、実践女子大生が大晦日やお正月に何をしていたかを知ることができ、卒論のWEBアンケートの練習にもなって、面白かったです。（町田）
- 今回は55分の時間配分に悩みましたが、その分、アンケート調査など新しいことに挑戦できました。学生のアンケートを紹介したので、トークがより充実していました。1つのコーナーをじっくり取り組むよさも実感しました。（瀧）
- 今回は特別編だったため、自分たちが話したい内容を多めに話せたり、内容に合った曲を流せたり、色々試すことができました。（渡井）

February 2020-2-6

「オタクは語る！」

【山本和泉（いずみ）】

LGBT関連のテレビドラマを中心に、時代毎に番組を分類し、映像分析を行い、日本におけるLGBTの捉え方の変遷を辿る！

【西浦未雪（みゆき）】

秋元康氏が作った歴代のアイドルグループの年表を作成し、特徴を把握する。坂道グループの握手会に焦点化し、ファン心理尺度と行動尺度を用いたWEBアンケート調査からアイドルとの直接コミュニケーションの深層に迫る！

【小島理香子（りか）】

放送では卒論の進捗状況を報告
研究については既出のため割愛

February 2020-2-6

「渋谷区中央エリア探検！」

【インタビュー取材先】 株式会社 プレティア・テクノロジーズ

【取材内容】 巷で噂の「渋谷が舞台のAR謎解きゲーム」に直撃レポ！

『サラと謎のハッカークラブ』を開発されたプレティア・テクノロジーズ社にインタビュー取材できました。このゲームは、AR技術を応用し、現実世界である渋谷の街で行う体験型謎解きゲームで、大変人気があります。今回、ゲームの開発経緯や渋谷を舞台にしたリアル脱出ゲームの企画意図、進化するゲームシリーズなどについて、吉田様と原様にお話を聴くことができました（写真左下）。取材後には、メンバーで実際に「サラと謎のハッカークラブ 第一弾」に参加しました。謎を解きながら、渋谷の色々なランドマークを歩き、今まで知らなかった穴場スポットも発見することができました。AR脱出ゲームの面白さと醍醐味を実感しました（写真右下）。

「2月 振り返り」

- 放送の前半では、特別コーナーの「先輩に聞いてみよう！」を担当し、3年生1人で少し不安でしたが、DJ勝さんと話が弾みました。緊張していた2年生たちが徐々に慣れてきて、頼もしかったです。ARゲームはもっと多くの人たちに面白さを知ってほしかったので、ラジオで紹介できてよかったです。（山本）
- 前回よりリラックスして話すことができました。後半30分頂けたので、プレティア・テクノロジー社に訪問しインタビューさせてもらったことや実際のゲーム体験をじっくり（ネタバレにならない範囲で）話すことができました。(西浦)
- 新しく楽しいARゲーム体験について、その面白さを生放送で伝えられました。DJ勝さんもAR謎解きに興味をもってくださり「可能性を秘めてるね」と話が盛り上がりました。またこの３人で第二弾にも挑戦したいです。（小島）

撮影 駒谷

撮影 他の参加者に依頼

March 2020-3-5

3月は時節柄、苦慮の末、本学企画広報部とパーソナリティのカツ氏の了承を得て、3/3にメンバーは自宅でLINEグループトークによる事前収録を行い、そのデジタルデータを生放送で使用してもらった。

「オタクは語る！」

【篠田萌（もえ）】

ジャニーズ舞台と歌舞伎の歴史を概観する。人気のジャニーズ舞台『滝沢歌舞伎』を取り上げ、演出や舞台装置に着目し、魅力を探る。ファンを対象にしたWEBアンケートを実施し、リピーターが多い理由を考察する！

【山本和泉（いずみ）】【瀧萌佳（もか）】

放送では、卒論の進捗状況を報告。研究については既出のため割愛

「渋谷区中央エリア探検！」

【インタビュー取材先】 1/10オープンの@cosme TOKYO

【取材内容】 最先端のコスメショップをレポ！

@cosme TOKYOを経営されているアイスタイル社アイスタイルグループ広報担当の畢様と、3/2に対面インタビュー予定でしたが、時節柄、アイスタイル社のご配慮を頂いて、書面でのインタビューになりました。@cosme TOKYOの最新技術やイベントを中心に伺いました。

March 2020-3-5

【取材内容】(続)

アプリの無料会員登録で酸素ボックス等が利用できる人気のコーナーは、「@cosme のアプリの良さを知ってもらうきっかけとして@cosme TOKYOをリアルな場」として「会員の方に特別感を感じてもらうため」に設置されました。また２つのランキングコーナー設置により、ゲストは@cosme と連動したウィークリーランキング（写真左）を見てその場で商品を試して購入したり、店舗の販売数量に基づいたセールスランキングを見て売れている商品を購入したりするそうです。セルフ肌測定やインタラクティブミラー(スノービューティーミラー®)は、一人でも友だちと一緒でも楽しめる工夫がされていました。このように@cosme TOKYOは、「行ってみたい！試してみたい！買いたい！」魅力が詰まったコスメショップだということがわかりました（写真右）。

「3月 振り返り」

- LINEグループ電話で収録することになり、目の前に相手がいない状態で、ラジオ風に喋れるかどうか不安でしたが、メンバーとトークを無事まとめることができました。Twitter担当として、10月から3月まで駒ゼミの仲間の活動をコンスタントに発信できました。毎回内容を駒谷先生にチェックしてもらうことで、メディアの送り手としてメッセージの内容や伝え方についても深く考えるようになりました。(山本)
- 今回@cosme TOKYOさんに行くのを心待ちにしていました。時節柄インタビュー形式が変更になりましたが、畢様がとても丁寧に私たちの質問に回答してくださって、本当に嬉しかったです。お陰で、3人で協力して事前収録でき、@cosme TOKYOさんのよさをリスナーの方々にお届けできたと思います。”よんきーず“の最終回にあたって、渋谷のスタジオでDJカツさんとおしゃべりできず残念でしたが、臨機応変に対応する重要性を学びました。(篠田)
- 時節柄、実際に体験したり直接見たりしたことを生放送で伝えられませんでしたが、一方で、グループ電話での収録を通して、すぐ近くに友人がいることの心強さを感じました。（瀧）

おわりに

Editors' Comments

ブックレット編集委員　竹澤百香

自分たちでレイアウトを考え、内容をまとめるのは難しかったですが、ゼミの仲間と協力しながら無事に完成させることができました。1年間のラジオ活動全てが詰まったブックレットとなり、大満足の仕上がりになりました！

ブックレット編集委員　西浦未雪

ブックレットのデザインや配色など、いろいろ工夫し楽しみながら作り上げました。駒ゼミ生全員で頑張ってきたJJ Campus Voice!! をこのブックレットにぎゅぎゅっと凝縮できました。多くの方々に読んで頂けると嬉しいです！

ブックレット監修　駒谷真美

編集委員の2人とって、ブックレット編集は卒論研究・就職活動に加えての作業となり、かなりの負担であったと思います。それにも関わらず、駒ゼミの仲間たちと一致団結し、最後までベストを尽くしてくれました。時節柄、Face-to-Faceの対面の打ち合わせができませんでしたが、メディアゼミの特性を活かし、 Dropboxにアップしたブックレットのドラフトを同時に見ながら、編集委員2人とLINEグループトークで話し合い、Social Media Communicationで乗り切ることができました。

駒ゼミ"よんきーず"のみなさんは、この1年間初めてのラジオ番組作りを通して、一歩一歩着実にメディア情報リテラシーを培ってきました。それは、掲載する顔写真1つにしても決して疎かにせず、「Twitterでは個人特定されない程度に公開を留める」が、「渋ラジのHP・大学のHP・月間報告書・ブックレットでは公開する」と、ゼミでディスカッションし自分たちで判断していました。みなさんは、情報の大切さと怖さをよく知っています。これからもそのスタンスを貫いていってくれることを望んでいます。

渋ラジが活躍の場！

お揃いのパーカーで元気に取材！

Special Thanks to

DJ佐藤カツ様
「渋谷のラジオ」スタッフ

10月取材　「MAISON ABLE Cafe Ron Ron」
11月取材　「Atelier Anniversary」「つるとんたん」
12月取材　「ティフォニウム・カフェ」「極味や」
1月取材　「実践女子大学　メディア社会論」履修学生
2月取材　「プレティア・テクノロジーズ株式会社」
3月取材　「株式会社アイスタイル」

実践女子大学企画広報部

みなさまの多大なご協力のお陰で、「JJ Campus voice!!」の活動が大変実りあるものとなりました。心より御礼申し上げます。

駒谷ゼミ一同

2020年3月31日　発行

JJ Campus Voice!!　Annual Report 2019
Komaya Seminar 4th Members

編集・発行　実践女子大学　人間社会学部　人間社会学科
駒谷真美研究室
〒150-8538　渋谷区東1-1-49
TEL　03-6450-6903
komaya-mami@jissen.ac.jp

助成　実践女子大学
「2019年度ゼミナール活動等の学術的活動活性化費」

無断掲載転載禁ず

渋谷のラジオ